

はじめに

管理職や経験豊かな教職員の大量退職の時代を迎えるなど、教育を取り巻く状況が大きく変化する中、次世代を担う管理職やミドルリーダーの養成、また初任者・新規採用者の増加に伴う若手教職員の育成など、教職員の人材育成と学校組織の活性化への対応が重要となっています。

京都府教育委員会の「『京の子ども、夢・未来』プラン21 - 京都府の教育改革 - 」において府民の信頼を高める学校づくりが示され、国のさまざまな教育改革においても、学校が自主性・自律性を高め、保護者や地域社会と連携協力することと教育活動の成果を説明責任の視点から公表していくことが求められています。

京都府総合教育センターでは、「『京の子ども、夢・未来』プラン21」、「指導の重点」「『教師力』向上のための指針」などを踏まえ、「学校・教職員を支援するセンター」を使命（ミッション）とし、学校の特色づくりや授業づくりを支援する研究事業、教職員の専門性や社会性の向上に向け、地元京都の豊富な人的、知的資源を活用した研修事業、児童生徒、保護者や教職員への教育相談事業などを展開しています。

特に、現在、学校組織の活性化や教職員の資質能力の向上に向け、学校組織マネジメントの考え方や手法が注目されています。

こうした背景には、法令、規則の遵守を前提とした学校組織運営や学校経営に加え、校長のリーダーシップのもと、教職員が協働しながら個々の得意分野を生かし、学校経営に参画するなど組織として力を発揮することが求められていることにあると考えられます。

本書は、文部科学省が開発した学校組織マネジメント研修のテキストを参考にしつつ、平成17年度より当センターで実施している学校組織マネジメントの研修講座の内容から本府の学校の現状により適応させた形で作成しています。

学校経営（運営）や校内研修、特に学校におけるミドルリーダーの立場にある先生方等に幅広く活用されれば幸いです。

最後になりましたが、本書発刊に際し、専門的立場からご指導をいただきました関係各位及び貴重な資料を提供いただいた名城大学木岡一明教授に厚く御礼申し上げます。

平成20年4月

京都府総合教育センター所長